



今、撮ってきました。特裁コシヒカリの田んぼ。

いよいよ夏!!
セミの声と、キリキリ照りつく太陽!
作物たちも、たくさんのお日様の光を栄養にして、
気持ちよく育つんだよ!



桑の実、今年もたくさん食べました。

JAS有機検査、終わった～～

6月末、今年JAS有機現地検査がありました。
JAS有機認証を取りはじめて、10年ほど経ちますが、今年は普通の認証機関の検査員だけではなく、農林水産消費安全技術センター(FAMIC)の方が同行して検査をチェックするというので、余計に緊張。
FAMICさんは、検査を受ける私たちではなく、検査をする検査員がきちんと業務を行っているかを見るのですが、そのため、いかんせん検査員のチェック体制も例年以上の細やかさ。書類の再提出も何度も何度も行い、検査後の追加提出書類も含めると、数百枚の書類(^_^; 5月からほぼ3か月かかりましたが、一緒に申請している人たちとの調整もしながらの事務作業を終え、無事今年の認定を受けることが出来ました\(^_^)/ばんざーい



田んぼの現地検査の様子

除草シーズン!!

7月は、畑も田んぼも除草シーズン。

畑内の除草と、田んぼの手取り除草は、私が主担当。なのですが、今年は上記の有機認証検査に足かせをくっつけて、なかなか思うように動けず、草だらけにしてしまった畑も散見しています。有機田も手で取るべき草の除草が追いつかず、草が…枝豆くん、稲くん、ごめんね。なんとかするからね。

田んぼは、今年新しく作付けはじめた田の水系の水争いが激しく、水のかけひきに時間を取られ悪戦苦闘。田植え後の水が必要な時に水が得られなかったため、特裁田の除草剤が上手く効かず、特裁田も一部、除草作業が必要になってしまいました。こちらの機械除草作業は、英明さん主導で、概ね順調にしています。



もちとうもろこしも順調



田んぼ除草機「あめんぼ号」

新追肥体系で、さらに美味しいお米をめざします

そして、7月は田んぼの追肥シーズンでもあります。今年、施肥体系を見直し、マグネシウムなどの微量元素を取り入れて、より食味重視の設計に変更しました。無理せず、美味しくを目指して。ただ、この微量元素肥料の重いこと…他の肥料も重いのですが、それよりさらに比重が重く、散布機械を含めると、55kg超の重さを背負って、足場の悪い田の畔を何kmも歩くので、さすがの英明さんも、この時期はグツッ。きっと稲が応えてくれるね。ありがとう。



ひさびさの自然農

今年の新チャレンジのもう一つが、耕さずに植えて育てる、いわゆる自然農。10年くらい前にやったことがあるのですが、久々に手掛けてみました。ただ、こちらも水のかけひき合戦にやられて、十分な水を保てず、田植えが7月になってしまいました。そしてその後も、水合戦…今年の収量は望めなそうですが、とにかく楽しみ。



7月1～2日半夏生ギリギリ田植え



今日現在でこの様子。水不足で根が上手く張れず苦戦。